

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Ambiデイ教室 仙北第二教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 10日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 10日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・室内の活動だけでなく、課外活動と集団行動を多く取り入れている。	・課外活動で買い物学習や自分たちで活動場所を決める等自主性に基づいた活動をしている。物事に対して主体的に行動していく姿勢を身に付け、自分1人で行動するのではなく、グループで行動することにより、子どものコミュニケーション能力向上と他の友達と協力する大切さ、必要性を知る機会が得られるよう意識的に取り組んでいる。 ・その中でこれまでにない新たな学びへとつなげられるよう意識している。	・現在よりも、やりやすい方法やわかりやすい方法がないかを考え環境を強化していきたい。
2	・不登校児の受け入れ	・学校へ行けず、不安(学習、人との関わり、引きこもり等)がある保護者様とお子様に対して、状況を踏まえながら個別対応等を強化し、学習支援から他者交流、外出の機会を確保できるよう取り組んでいる。また、学校の出席日数等での相談も受け、学校様と連携を取りながら指導要録上出席扱いにしてもらえる等のサポートに取り組んでいる。	・今後も児童の状況に合わせてサポートしていきたい。 また、特性上の理由で他事業所や公的機関、フリースクール等が合わず定期的な利用につながらないお子様で、当デイサービスなら利用できるとお話を受けることもあり、その際の日数等の受け入れ体制を行政機関とも連携して、取り組んでいきたい。
3	・個別、集団、小集団の活動	・できるだけ児童一人ひとりに合わせた支援を心がけている。児童の現状を踏まえ個別対応が必要とされるお子様には個別で対応し、個別→小集団→集団とスモールステップを踏みながら成長を促すことを意識している。 ・児童がやりたい!と思うことをプログラム化して、やらされているのではなく「やりたい」と思うことを多く取り入れている。 ・毎週体育館を借りて運動プログラムを取り入れている。	・やりたいことと決められたことに関して、今以上にバランスを保って実施していく。やりたいことだけに偏らないよう今以上に心がけていきたい。
4	・職員の人数も充実し、余裕を持った配置が行える。 ・通常の療育に加え、理学療法士(PT)や元教諭等による手厚い学習支援から身体づくりのサポート(運動や感覚)等トータル支援が行える。	・職員が充実していることで、一人ひとりになるべく対応できる環境を整え、手厚い支援と事故等の防止を常に心がけている。 ・ほぼ中高生が利用されているため、学習だけではなく、進路の相談、情報収集やアドバイス、面接等の実践的な内容を取り入れている。 ・集団PTだけでなく個別PTも行えるようできる限り工夫している。	・今以上に職員の研修等(内外部とも)を実施し、専門性とスキルを高めていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・通信やホームページ、SNSなどを使った情報の発信	・現在、お知らせ等は用紙を配布し行っており、ブログやインスタグラム等の発信するツールを使用していない。	・令和7年4月より、デジタルツールを使用してお知らせや共有や連絡体制等を予定している。
2	・地域の他の子どもとの活動等、地域参加の機会が確保できていない。	・下校時間等や送迎の兼ね合いで、提供する機会の確保が難しい。またコロナ以降、落ち着いてきたものの保護者様の不安等を配慮し実施していない。	・保護者様と意見を確認しながら、長期休み時を利用して実施していきたい。
3	・普段の業務で行う書類関係等の管理	・書類関係等を紙媒体で管理しているため記録、書類のファイリングや差し替え等に時間がかかり、職員の負担となっている。	・令和7年4月より、デジタルツールを使用して紙媒体で行うものをICT化予定。職員の負担を軽減し、現場環境と支援内容の質を高めていきたい。
4	・教室のスペースの活用	・面接や面談時の教室におけるスペースにて、児童の人数にもよるが、狭くなってしまったり多人数が苦手なお子様にとって負担となっている部分が見られる。	・面談や面接時間をなるべく児童が少ない時間帯や、場所等を変えて対応するように環境を作っていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Ambiデイ教室 仙北第二教室

公表日 令和7年3月7日

利用児童数 31名

回収数 17名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	2	1	0		今後もスペースを確保しながら安全安心できる環境を整えていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	2	0	2	先生方の人数や生徒数を知らない。学年ごとの人数や職員の掲示があると嬉しい。(職員の話をしたとき顔がわからず、毎回どの人?どんな人?となってしまっているので…)	ご意見ありがとうございます。すべての職員が保護者の皆様に認知されるよう考えていきたいと思っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	4	0	3		今後も適切な環境を整えていきたいと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1	0	0		ありがとうございます。安心して居心地の良い環境となるよう今後も取り組んでいきたいと思っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	0	0	1		ありがとうございます。今後も一人一人に合わせた支援をしていきたいと思っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1	0	1		ありがとうございます。今後も楽しんでいただける内容を実施していきたいと思っています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	17	0	0	0		ありがとうございます。今後もお子さま・保護者の皆様の希望に合わせた支援をしていきたいと思っています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1	0	2		ありがとうございます。今後も必要な内容を適切に設定し支援につなげていきたいと思っています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		ありがとうございます。今後も計画に沿った支援を提供していきたいと思っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1	0	1		ありがとうございます。お子さまの意見を取り入れたプログラムを今後も取り入れていきたいと思っています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	2	8		コロナも落ち着いてきたとは言え、まだ不安とお声も頂いており、交流の機会を控えております。今後、このようなお声がなくなったときには積極的に企画していきたいと思っております。
保 護 者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1	0	0		ありがとうございます。今後も安心してご利用いただけるよう丁寧な説明を継続していきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0		ありがとうございます。今後も安心してご利用いただけるよう継続していきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	2	7		コロナも落ち着いてきたとは言え、まだ不安とお声も頂いており、交流の機会を控えております。今後、このようなお声がなくなったときには積極的に企画していきたいと思っております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	0	0	0		ありがとうございます。今後も安心してご利用いただけるよう継続していきたいと思っています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1	0	0		ありがとうございます。今後も安心してご利用いただけるよう継続していきたいと思っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1	0	0		ありがとうございます。今後も安心してご利用いただけるようお一人お一人に合わせた支援を継続していきます。

こ へ の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	2	9		コロナも落ち着いてきたとは言え、まだ不安なお声も頂いており、交流の機会を控えております。今後、このようなお声がなくなったときには積極的に企画していきたいと思っております。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2	0	1	いつもたくさん助けていただいています。感謝しかありません。ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。また嬉しいお言葉をいただき、今後も何かあった際には出来る限り迅速に対応できるよう取り組みたいと思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	2	0	1		ありがとうございます。今後も継続していきたいと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	2	0	9		必要に応じ、HPや用紙の配布で周知していると考えていましたが、集計結果より、今後はよりわかりやすい形で発信していきたいと思います。予定としてはデジタルツール等を検討しています。そちらでお知らせや共有の強化を図っていきたくと考えております。導入に関して今後ご協力をお願いするご
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	1		ありがとうございます。継続して注意していきたいと思います。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	0	1		ありがとうございます。今後も周知と説明を適切にし、訓練等も行いながら安全にご利用できるよう取り組んでいきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1	0	1		ありがとうございます。今後も訓練等を行いながら安全にご利用できるよう取り組んでいきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1	0	1		ありがとうございます。今後も安全にご利用できるよう取り組んでいきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	0	0	1		ありがとうございます。今後も安心安全にご利用できるよう取り組んでいきます。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	2	0	0	安心して楽しみにして通っています。	安心して楽しみにご利用しているのご意見、ありがとうございます。今後もお子さまにとって心安らげる場所となるよう取り組んでいきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	4	0	0	楽しみにしています。親としてもこれが一番です。	ご意見ありがとうございます。今後も皆さまにとって楽しみな場所となるよう取り組んでいきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0	・子どもの話をたくさん聞いていただき、アドバイスや支援につなげていただいいただき、とても助かっています。 ・とても満足しています。これからもよろしくお願いします。 ・◎とても満足しています。	たくさんのご意見ありがとうございます。これからも今以上に満足していただけるよう色々と考えていきたいと思っております。お子様だけでなく、保護者の皆様にとっても「心の居場所」となるよう取り組んでいきたいと思っております。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Ambiデイ教室 仙北第二教室		公表日		令和7年3月7日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	6	・構造上難しい部分もある。	・構造上難しいが、可能な限り配慮はしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	4	・状況に合わせて、外出の機会として課外学習を取り入れている。	・面接、面談等で活動場所が制限されるときがあるため、時間や場所等、工夫が必要。 ・面談等の場所に工夫が必要。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	・状況に合わせて、外出の機会として課外学習を取り入れている。	・面接、面談等で場所や活動内容が制限されることがあるため工夫が必要。 ・丸テーブル使用につき移動があり集中しているときの児童の気持ちが崩れないように移動する工夫が必要。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		・第三者委員会は立ち上げていない。 ・外部評価は定期的に必要。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・社内研修での学習機会や、外部研修への参加	・第三者委員会は立ち上げていない。 ・研修受講を職員がしやすい環境ではない。 特定の職員のみ受講している。		
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	・管理ソフトを利用して児童情報をすべて共有閲覧できるようにして、統一した支援を行っている。	・短期、長期目標が児童によって不明瞭。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・管理ソフトを利用して、日々の様子等を共有している。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	・支援計画を元に、一人ひとり合わせた支援内容を実施している。			

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・忙しく難しい場合は、次の日の朝礼等に実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・管理ソフトを利用して共有し、検証と改善を図っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・自主性を育めるよう、自分で計画等を立てるプログラムを随時取り入れている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児童について児童発達管理責任者より、指導員に聞き取りがあり情報を共有している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	・必要に応じて、実施している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6		・必要に応じて設けていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	・利用児童や保護者の希望や配慮もして、設定していない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6		・人員等の兼ね合いで、参加する機会が少ないが今後は出来る限り参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・保護者対応時は、その日の様子等を必ず話している。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6		・感染症等の不安の声等もいただき、実施なし。今後、様子を見て取り入れていきたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		・感染症等の不安の声等もいただき、実施なし。今後、様子を見て取り入れていきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	3		・令和7年4月以降管理ソフトを利用して、発信強化をしていく予定。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1	・書類等を鍵付きの書庫で保管。また、管理ソフトも暗証番号で管理して、他者がみられないようにしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		・感染症等の不安の声等もいただき、実施なし。今後、様子を見て取り入れていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・マニュアル関係の周知と、それに伴う訓練と講習会を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	・管理ソフトで児童の情報を共有しているため。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・管理ソフトで児童の情報を共有しているため。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・会議にて共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・対象児童なし。		